

# 校長室から

## 錦織選手が小学校の卒業文集に書いた「ぼくの夢」



ぼくの夢

錦織 圭

この六年間で一番思い出に残ったことはテニスで日本一になったことです。練習で一所懸命やったら結果が出たと思います。

全国選抜や全国小学生大会、全日本ジュニアの三つの試合で優勝しました。

「試合一試合を「絶対勝つぞ」と思っていた。そして、優勝までいけた時は、すごくうれしかった。

ぼくはテニスのラリーが長く続くところが好きです。いろいろなコースに打ちわけ、深く打ったり、短く打ったりします。チャンスボールが来た時、強いボールを打つのが好きです。決まった時はすごく気持ちがいいです。このショットがいつも打てるように練習していきたいです。

試合に出ることで友達が増えました。友達が増えたおかげでいろいろな話をしたり、いっしょに練習したりできます。それもテニスが好きなの一つです。

これから先にも負けたくないように、苦しい練習も絶対おきらめずに全力でとりくんでいこうと思います。

夢は世界チャンピオンになることです。夢に向かって一歩一歩がんばっています。

(中国新聞掲載記事から)

## 錦織 圭選手の活躍から思うこと

グランドスラムの一つ、全米オープンテニス大会決勝戦が9月9日に行われました。テレビやインターネットでの実況放送を見られた方も多かったのではないのでしょうか。

プロのテニス大会では、これまで日本人がベスト10以内に入ることも難しいのではないと言われていました。しかし、錦織選手はその評価を打ち破り決勝戦まで進みました。テニスにさほど興味をもっていない方も、この度の快進撃で、もしかすると「優勝」するのではないかと思われていた方も多かったと思います。私も実はそれを望んでいた一人です。結果は準優勝でしたが、これからまだまだチャンスはあります。次へのステップと考えを切り替え、これからも精進してほしいと思います。

さて上記の作文は、中国新聞に掲載された、錦織選手の小学校の卒業文集の内容です。小学校6年生の時点で自分の夢を明確に描き、世界チャンピオンになることだと明言しています。そして夢の実現のために13歳でアメリカに一人渡り、テニス留学をして心身を鍛え、プロデビューしています。

本校の児童も自分の夢を全員もっています。自分の夢に向かって、ひたむきに努力していくことが夢の実現につながるんだと改めて錦織選手から学びました。2学期は運動会、学習発表会、親善音楽会、校内マラソン大会等々様々な分野での活動があります。自分の力を多方面に開花させてほしいと願っています。